

# お知らせします！青森市の財政状況

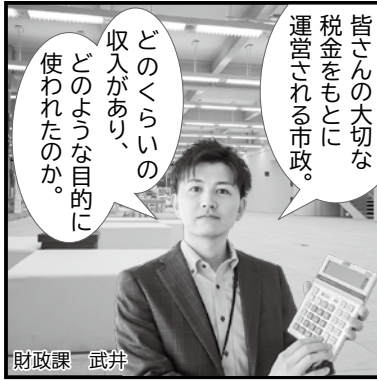
令和4年度決算を  
見てみよう！

今年もこの季節が  
やってきました！

本市の  
令和4年度の決算が  
まとまりました！

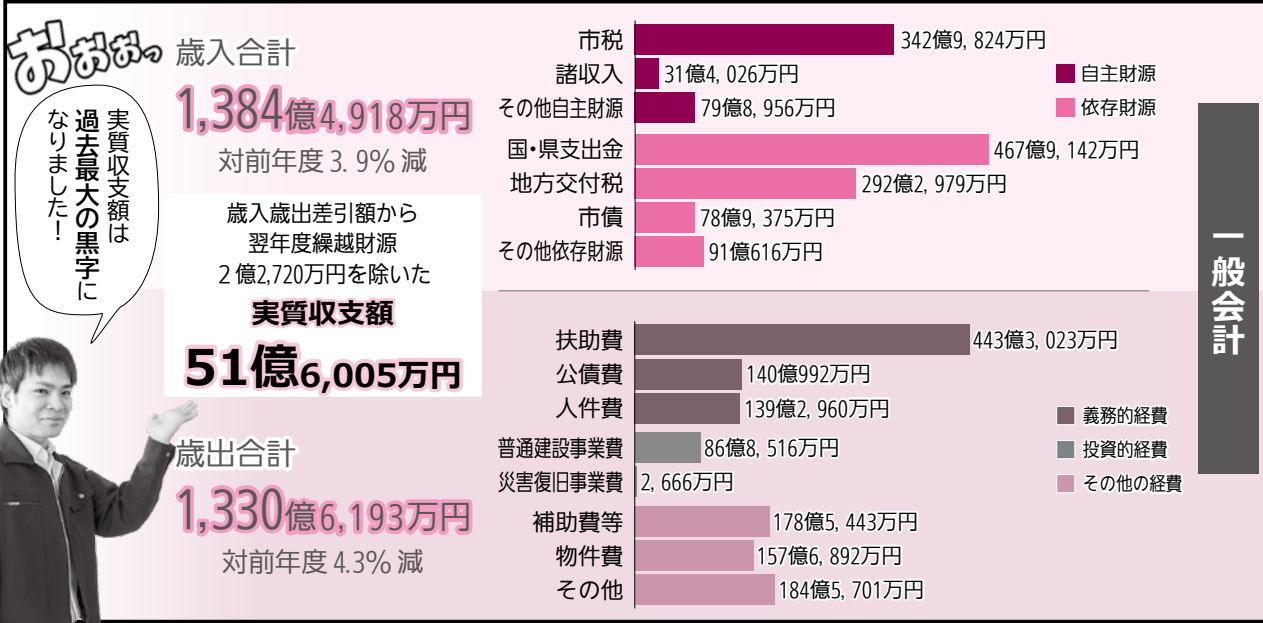


決算の概要と  
財政状況を  
お知らせします！



どのくらいの  
収入があり、  
どのような目的に  
使われたのか。

皆さんの大切な  
税金をもとに  
運営される市政。



企業会計				特別会計		
会計名	区分	収入	支出	会計名	歳入	歳出
病院事業	収益的	116億9,703万円	117億1,160万円	競輪事業	339億1,832万円	336億1,388万円
	資本的	11億6,792万円	16億760万円	国民健康保険事業	266億4,235万円	266億1,838万円
水道事業	収益的	63億2,424万円	58億6,629万円	宅地造成事業	3億1,892万円	2億2,461万円
	資本的	7億9,777万円	28億7,964万円	卸売市場事業	8億6,538万円	8億5,909万円
自動車 運送事業	収益的	23億7,658万円	24億7,572万円	介護保険事業	312億95万円	307億7,919万円
	資本的	4億559万円	4億5,192万円	母子父子寡婦福祉資金貸付金	1億9,239万円	5,337万円
下水道事業	収益的	84億6,558万円	78億4,545万円	後期高齢者医療	38億9,977万円	38億5万円
	資本的	49億1,524万円	82億4,710万円	駐車場事業	2億7,325万円	2億4,218万円
農業集落 排水事業	収益的	3億7,301万円	3億2,656万円			
	資本的	1億3,152万円	2億5,994万円			

※収支不足額は、それぞれ消費税及び地方消費税資本的収支調整額などの内部留保資金などで補てんしました。

## 市民1人あたりに使われたお金 49万4,479円

※令和5年4月1日時点の人口269,095人で計算。  
※端数処理の関係で各項目の計は「市民1人当りに使われたお金」と一致しません。

高齢者や障がい者、 子どもの福祉など	民生費	22万4,073円	公園、道路、河川の 整備など	土木費	5万2,660円
戸籍証明書発行などの 窓口業務、選挙など	総務費	3万4,657円	学校教育や 社会教育など	教育費	4万6,228円
保健、医療、コロナ 感染防止対策、 ごみ、し尿処理など	衛生費	3万8,825円	商工業の振興、 コロナ経済対策など	商工費	1万9,931円
市債(市の借入金) の返済	公債費	5万2,063円	消防、救急、農林水産 業の振興、議会、 雇用対策など	その他	2万6,042円



問 財政課 (☎ 017-734-5187)

# 財政指標を読み解く

令和4年度決算を基に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定による財政指標を算定しました。

これを見ると、財政の健全度をチェックできます。下の表をご覧ください！

前年度に続き、いずれの指標も国の基準を下回りました。また、前年度よりもさらに改善しています。

しかし！病院事業会計と自動車運送事業会計では資金不足が発生しており、経営改善に向けた取組を強化していく必要があります。

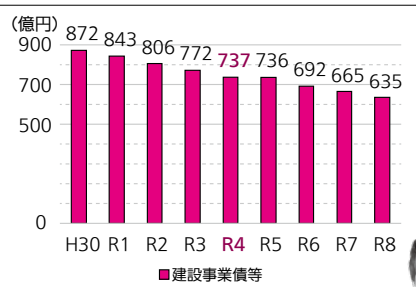


指標	内容	企業会計名	前年度	令和4年度	国の基準	
					早期健全化基準	財政再生基準
① 実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合。比率が大きいほど財政状況が悪化していることを示します。		赤字なし	赤字なし	11.25%	20.00%
② 連結実質赤字比率	全会計の赤字の割合。比率が大きいほど財政状況が悪化していることを示します。		赤字なし	赤字なし	16.25%	30.00%
③ 実質公債費比率	市の標準的な年間収入に対する借金返済額の割合。比率が大きいほど借金返済に財政が圧迫されていることを示します。		13.2%	12.1%	25.0%	35.0%
④ 将来負担比率	市の標準的な年間収入に対する将来に負担が見込まれる負債の割合。比率が大きいほど将来財政を圧迫する可能性が高いことを示します。		82.3%	77.6%	350.0%	—
⑤ 資金不足比率	各公営企業の手持ちの資金などの不足額が営業収益に占める割合。比率が大きいほど経営状況が悪化していることを示します。	病院事業	2.1%	0.5%	経営健全化基準 20.0%	
		下水道事業	資金不足なし	資金不足なし		
		農業集落排水事業	資金不足なし	資金不足なし		
		水道事業	資金不足なし	資金不足なし		
		自動車運送事業	8.9%	7.9%		

## 市債残高の推移

【目標】市債発行額の抑制による市債

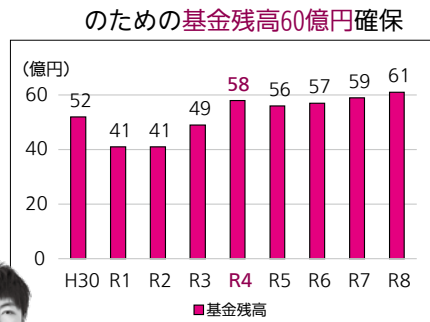
残高の縮減



借金(市債)は少しずつ減らし、更に102億円の縮減を目指します。

## 財政調整のための基金残高の推移

【目標】令和8年度末における財源調整のための基金残高60億円確保



貯金(基金)は少しずつ増やし、目標の60億円まであと2億円です。

市では、持続可能な財政運営のための指針として、令和元年10月に、「青森市財政プラン(2019~2023)」を策定し、毎年度、ローリング(見直し)を行っています。



## 青森市財政プラン 令和5年度ローリング版

## 青森市の財政運営 まとめ

実質公債費比率(借入金の返済額が収入に占める割合)がピークである平成29年度の15.2%から3.1ポイント減少するとともに、将来負担比率(将来負担する負債額が収入に占める割合)が同時期の104.3%から26.7ポイント減少するなど、青森市の財政は着実に健全化しています。

しかし、昨今の物価高騰の影響は、市民生活はもちろんのこと、市の財政運営にも及んでいます。都市間競争力の基盤となる持続可能な財政運営を行うために、社会の変化に応じて、不断の事業見直しを進めていきます。

財政の更なる健全化に向け、我々は日々業務を遂行します！

